

第 13 回：機会を創出・提供する

会長 田中 仙堂

ミッションステートメントの「機会」は、「未来の新しい可能性」という意味で使っています。英語では、オポチュニティとチャンスと使い分けているところ、日本語では機会の一語なので少し補足しておきましょう。ミッションステートメントでも、二つのニュアンスを含めて使っています。

通常、機会は、チャンスの意味と受け止められがちです。チャンスが外来語として定着したのは、野球などで、「一発逆転のチャンス」と使われたのがはじめなので、機会とは事を行うのにちょうどよい時期というのが辞書に採用される理解です。

さて、ミッションステートメントの「機会」は、「創出・提供します」と結ばれています。

多くの方は、「提供します」とつなげて、人にチャンスを与えてあげることかな、と受け止められたかと思います。

しかし、「創出します」とつなげて、「機会」を「絶好の機会」と言った時などのチャンスの意味で受け止めると、外から偶然におとずれるようなものを作り出すとはどういう意味か？と疑問に思った方もおられるかもしれません。

オポチュニティには、当事者が自らの努力と創意によって生み出していくという意味が含まれます。「機会を切り開く」といった使われ方をする場合が、それにあたります。

「創出」とつながるのは、こちらの意味で、待っているだけではなく、われわれの手でそうした機会を作り出していこうという積極的な提案を行っているのです。

創出・提供とつなげることで、人の心が豊かに育まれる機会を、茶道を通じて作り出していこう、そして、作り出した機会を多くの人と分かち合っていこうと考えているのです。